



慶應義塾大学ビジネス・スクール

巨大資源メジャー BHP Billiton

5

何が起きているのか？

【石炭、鉄鉱石の大幅値上がり】

10

「産業界 1 兆円コスト増、鉄鉱石 65%値上げ、鋼材にも波及へ」^[1]

新日本製鉄など鉄鋼大手とブラジル資源大手ヴァーレ（旧リオドセ）が進めていた 2008 年度の鉄鉱石の価格交渉は 07 年度比 65%の引き上げで 18 日合意した。石炭などほかの鉄鋼原料の価格も上昇する見通し。鉄鋼大手が値上がり分を鋼材価格に転嫁すれば、顧客企業全体で 1 兆円規模のコスト増につながる公算が大きい。

15

「原料炭価格 3 倍で妥結 日本の鉄鋼各社 交渉力低下 鮮明」^[2]

豪英系資源大手 BHP ビリトンと、新日本製鉄など鉄鋼各社との 2008 年度の鉄鋼原料用石炭（原料炭）の価格交渉が、2007 年度比 3 倍超の大幅値上げで妥結した。中国の需要急増で、需給が逼迫したことが主因。素材・資源産業で世界的な再編が進む中、今回の価格交渉では日本企業の交渉力低下が目立った。現在進行中の鉄鉱石の価格交渉でも大幅値上げが避けられそうにない。

20

鉄鉱石で前年比 65%の引き上げ、原料炭では前年比 3 倍超という衝撃的な数字が新聞紙上で報道された。鉄鉱石は、2005 年に新日鉄とブラジルのリオドセの間の交渉で、71.5%の大幅値

25

^[1] 日本経済新聞 2008 年 2 月 19 日

^[2] 日本経済新聞 2008 年 4 月 10 日

本ケースは、慶應義塾大学経営研究科許斐義信教授の指導の下、M30 澤田悦治が作成した。経営管理の巧拙を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町 2 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 許斐義信（2008 年 7 月作成）